

令和5年度1月号

# 算数・数学チャレンジクラブだよ



新雪に足跡が残るように、  
学びの軌跡の残し方を  
カンガエル♡

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865 金沢市長町3丁目3番3号  
Tel: 076(221)2061 Fax: 076(221)2062  
e-mail [kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp](mailto:kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp)

令和5年度の講座も残りわずかとなりました。5類になったとはいえ新型コロナとインフルエンザウィルスの高波に見舞われながらも講座が実施できたのは、クラブ員の健康管理に努めてくださった保護者の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。クラブ員の皆さんは、今年度の学びの軌跡が、次年度につながり育っていくように頑張りましょう。

## 今後の講座の予定

今後の講座の予定 (通常の講座時間は 10:00~11:45)

回	月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
10回 (中3生は 11回)	1月	1月13日(土) A組 「秘宝伝」 B組 「立体4目並べ」	1月20日(土) 「三角形の数・四角形の数」	1月28日(日) 中1「循環小数からのプレゼント」 中2・中3 「パスカルの三角形」 中3生は修了式	小5から中2のみ 1月7日(日)
思考力 検定		2月24日(土) 10:00~第2回思考力検定 【申込者のみの受検となります】 受付: 9時30分~9時45分 説明・諸注意: 9時50分~ 検定開始: 10時 (終了は受検級による)			
11回	2月	2月10日(土) 閉講講座・閉級式 「パズル&謎解き 初級」	2月3日(土) 閉講講座・修了式 「あてっこゲーム」	2月18日(日) 閉講講座・閉級式 中1「モンテホールジレンマに チャレンジ」 中2 「折り鶴と数学」	小5から中2のみ 2月25日(日)

## 重要なお知らせとお願い

- 令和6年度の算数・数学チャレンジクラブの継続申込みは**1月22日まで!!** (12月号にも掲載)  
令和6年度の算数・数学チャレンジクラブの正式な継続あるいは退会の意向調査を財団の特設サイトで行っています。(チャレンジクラブは中学3年生までの継続が原則です。)  
12月19日(火)の朝9時に継続・退会意向調査サイトのURLを記載したメールが小学5年生~中学2年生のクラブ員全員に一斉送信されます。サイトの案内に従いメールアドレスを返信いただくと回答フォームが届きますので、必要事項を記入して回答してください。お手数ですが、継続・退会どちらの場合も必ず期限内にフォームから回答をお願いします。1月23日(火)以降はサイトにアクセスできませんので、ご注意ください。また、電話やFax等での回答はご遠慮ください。メールが届かない場合や、ご不明な点等がありましたら財団までお問い合わせください。
- 来年度の算数オリンピック支援講座について  
来年度の算数オリンピック支援講座は、現受講生のみを対象に4~6月までの間、計4回開催します。新規の受講生募集は行いませんので、ご了承ください。つきましては、現受講生お一人お一人に、継続意向をメールで確認させていただきますので、ご協力をお願いします。なお、来年度の算数オリンピックトライアル大会の開催日は、6月16日(日)午後決定しました。トライアル大会の団体受検は、受講生以外でもチャレンジクラブ員(その兄弟姉妹も含む)であれば申し込み可能です。

- ③ 第2回目の**思考力検定**は2月24日(土)10時からです。希望者は検定料を持参して長土塀青少年交流センター3階財団事務局松原まで直接申し込みにお越しください。12月から受付を始めています。最終締め切りは1月20日(土)です。原則平日の火曜日から金曜日の朝9時から午後3時半まで受け付けます。締め切り以降は受け付けませんので、ご注意ください。受験級の目安は以下の通りです。

受験級	受験級の目安	実施時間	3級	中学3年程度	60分	4級	中学2年程度	60分
5級	中学1年程度	60分	6級	小学6年程度	50分	7級	小学5年程度	50分
8級	小学4年程度	45分	9級	小学3年程度	45分	10級	小学1~2年程度	45分

検定料は、3級：3500円、4級：3000円、5~10級：2500円です。お釣りのないように。

\*11月の思考力検定は合格者が20名出ました。満点獲得も2名いました。合格したクラブ員さん、おめでとうございます。皆さん、次も頑張りましょう。

## 新しい内容の講座から

- ① 中学2年生講座『解けない連立一次方程式を解く』

11月12日(日)に中学2年生の上記の何とも不思議な題名の講座がありました。金沢大学の岩瀬順一先生が、中学生で学ぶ連立方程式を大学ではどのように解くのかを教えてくださいました。中学生は一次方程式なら簡単に解けます。二元連立一次方程式でも順を追って考えていくと解けます。でも三元連立一次方程式となると途端に難しくなり、解けません。しかし、方程式を倍にしたり足したり引いたりする「掃き出し方」という手法で大学生は解いていることを知り、やってみました。すると中学2年生のクラブ員は自力で解けることがわかっていくつもの問題をどんどん解いていき、気分はもう理知的な大学生になりきっていました。



(↑岩瀬先生から直接指導を受けるクラブ員)



(女子大生に自分の解を説明するクラブ員↑)

- ② 中学3年生講座『箸袋を結んだ形は?』

11月19日(日)の中学3年生の講座です。箸袋とは、細長い長方形の紙のことです。それを結びと正五角形になることを証明する活動です。金沢大学附属高校の新井先生と金沢大学の学生の白江さん達3人が講座を展開してくれました。今日証明したい命題を決めて、図形を観察して仮説を立てたり、実際に細長い紙を折って補助線等を引いて作図をしたりしながら、少しずつ証明を完成させていきました。一つ一つの証明自体は単純なものが多かったけれど、正五角形と完全に証明されるまでにたくさんの小さな証明が多くて、クラブ員はてこずっていました。でも、最後まできちんと証明ができてスッキリしていました。難しい内容ながら、楽しいと感じたクラブ員が多かった様です。



(↑実際に箸袋を折って観察するクラブ員)



(結論の証明をみんなに説明するクラブ員↑)